



北淡路で



チャレンジ 農業ビジネス

北淡路 先端ファームの形成



特別動画
公開中

農業参入企業の
インタビューが
ご覧いただけます。



北淡路地区の特徴

1. 環境が良い

- ① 温暖な気候。平均気温16℃ (-4～36℃)
- ② 景観抜群、風光明媚。海に近い。
- ③ 年間降水量1,258mm(郡家観測所 全国平均1,877mm 2021年)
- ④ 日照時間が長い。2,228時間/年(全国平均1,990時間 2019年)

2. 都市圏からのアクセスが良い

- ① 神戸から30分 ② 大阪から60分
- ③ 大消費圏が明石海峡大橋を渡るとすぐ先



北淡路まで神戸から30分

3. 観光客をターゲットにできる

- ① あわじ花さじきへ、年間50万人超の観光客
- ② 観光農園や多様な農業を展開



兵庫県立公園あわじ花さじき

4. 6次産業化を展開できる

- ① 淡路島ブランドとして商品化できる。
- ② 企業間の連携や取組みが活発化
- ③ 「農産物の生産→加工→販売」の新しい農業分野へチャレンジ



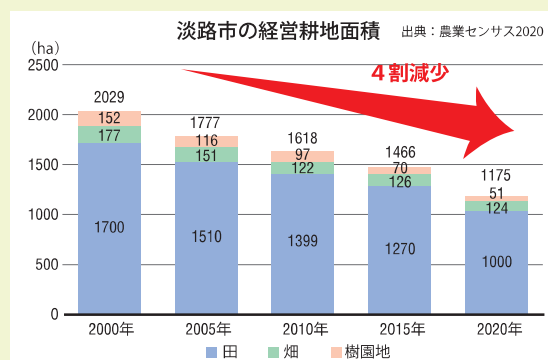
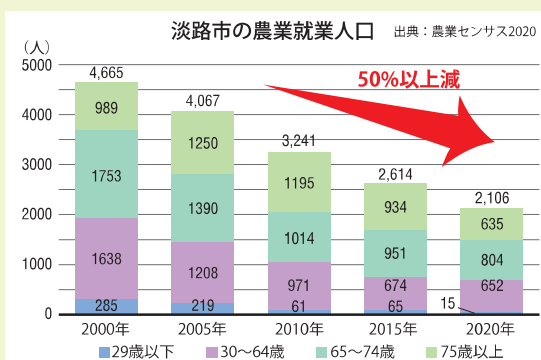
常盤ダム

5. 用水設備が完備され、用水が安定供給される

- ① 水源は常盤ダム、谷山ダム
有効貯水量1,020千m³の水源(常盤ダム633千m³、谷山ダム387千m³)
- ② 各農地へは、パイプラインにより配水
- ③ 給水設備(給水栓、スプリンクラー)

淡路市の農業を取り巻く現状

- ① 農業就業人口は年々減少
- ② 経営耕地面積は年々減少。特に樹園地は半分以上
- ③ 農業算出額は毎年50億円程度。近年は畜産部門が全体の約4割。花きや野菜の占める割合も高い



北淡路地区の現状と今後

1. 担い手の不足による耕作放棄地の増加

- ❶ 農業就業人口の著しい減少
- ❷ 個別経営体による営農が中心で後継者が不足
- ❸ 島外の所有者も多く自己作が困難
- ❹ 耕作放棄地は農地全体の約3割(約100ha 2024年7月時点)

2. 施設の老朽化等

- ❶ 1989年に造成事業完了。ポンプなど基幹的施設の多くが耐用年数を経過
- ❷ 中山間地を拓いた農地は傾斜畑が多く、道路も狭小で営農の制約がある

3. 新たな担い手の確保による耕作放棄地の解消等

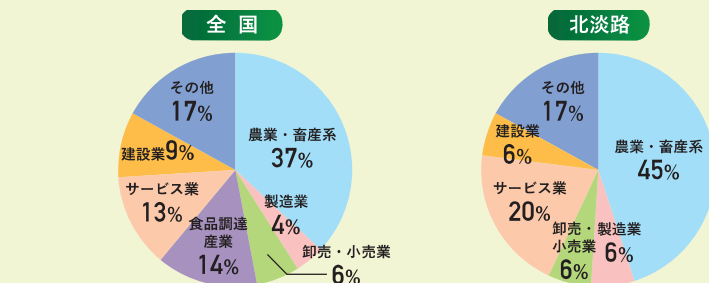
- ❶ 安定的な用水、まとまった農地の確保が容易であり、近年参入者が増加
- ❷ 貸出希望農家と参入者のマッチングを進め耕作放棄地の解消を図る
- ❸ まとまった農地で収益性の高い営農が可能な場合、補助事業を活用し農地の大区画化や農道の拡幅、管路施設の更新も可能

北淡路地区の農業参入の特徴

企業アンケートをもとに農水省と北淡路地区のデータを比較。
※データ出展 農林水産省経営局調べ(令和5年1月)、北淡路土地改良区調べ(令和6年10月)

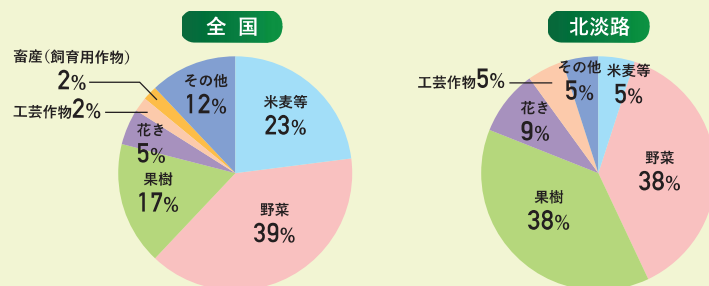
1. 業種別

全国と比較し農業・畜産系や建設業については大きな差異は無いが、食品調達産業が無くサービス業の比率が高いのが特徴。



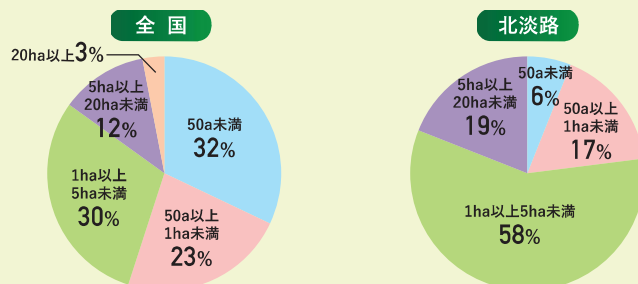
2. 作物別

北淡路地区は畑の農地造成が主体のため、全国と比較し米麦比率は低いがブドウやオリーブなど果樹の比率が高いのが特徴。温暖で雨が少ない気候が果樹栽培に適していると考えられる。



3. 借入農地面積

1ha以上の割合が全国では45%なのにに対し北淡路は77%と高い。農地造成でまとまった農地を借入易く、参入企業が多い理由でもある。



北淡路1期地区は こんなところ

(北淡1-1団地)



素晴らしい景色を見ながら営農できます。

(株)池上農場

代表取締役 齋藤亜紀美さん

凡例	担い手	面積	作付作物
	(株)Awaji Nature Farm	5.5ha	ワインブドウ等
	(株)池上農場	4.2ha	たまねぎ
	個人認定農業者	1.5ha	さつまいも



北淡路で活用する事業（農地をまとめて担い手に預けることで実質農家負担無しで再整備できるもの）

1 農地中間管理機構関連農地整備事業

北淡路1期・2期・3期地区実施中

事業要件

- ・5ha以上（中山間地域）のまとまった農地
- ・全ての農地を農地中間管理機構へ貸出し（貸付期間は15年以上）
- ・対象農地の8割以上を担い手に集団化または担い手への集積率及び集約化率が50%以上向上
- ・担い手は認定農業者、認定新規就農者
- ・事業区域の収益性が20%以上向上 など

2 農業競争力強化農地整備事業など

借り手
(参入企業)



(株)Awaji Nature Farm
代表取締役 田中康輔さん

借り手・貸し手それぞれのメリット

- ・オーダーメイドの整備で、基盤整備に係る負担金ゼロ。
- ・まとまった農地を長期間契約でき、安心して耕作することができます。
- ・隣接地に集客施設も計画しており、北淡路のすばらしさを体感してもらいます。

- ・栗の植え替えもできず耕作放棄地も増えていたので、公募による企業が参入してくれて安心しました。
- ・草刈りや法面の管理も担ってもらえ、助かります。
- ・農地も生まれ変わり、活気が戻ってきました。

貸し手
(地権者)



北淡1-1回地代表
中田季宏さん

北淡路2期地区の様子

再整備が次々と進められています



造成前



施行中

令和6年11月撮影

参入企業インタビュー

(株)ユウキノチカラ 代表取締役 原秀子さん

木々が生い茂りジャングル化した淡路島久野々の土地を綺麗に整地し、播磨灘や瀬戸内海に落ちる夕陽が一望できる丘に整然と植樹された約1,000本のオリーブ、レモン等。太陽の恵みをいっぱい受け有機農法で育ったオリーブ、レモンから作り出される商品。淡路島の自然と風土を活かした地域連携、地産地消を目指します。



太陽通関(株) 代表取締役 松本潤一さん

取組みの内容は？

但馬牛の子牛を生産しています。

会社名にある通関とはどういう仕事？

弊社は税関から営業許可を得て、全国の港において一般貨物の輸出入手続きや運送を長年営んでおります。通関は正確かつ迅速におこなうことが評価される一方、畜産は地域環境や人の健康に与える影響と責任が大きく、そこに魅力を感じて参入しました。



今後の目標は？

弊社は急傾斜の荒廃農地を伐採し、牧場として再生しました。育成牛舎の外の斜面に栽培している牧草を母牛に食べてもらっています。こうして中山間地域の魅力を牛の健康に活かし続けることが今後の目標です。



(株)ハーベストファーム 取締役本部長 鹿本佳功さん

淡路島でオリーブとの出会い

淡路島でグループ会社の様々な事業に取り組んでいるときにオリーブと出会いました。比較的栽培のしやすいオリーブは私たち農業の専門ではなくても取り組むことができると思い、耕作放棄の解消にもつながると考えました。



今後の展開は？

オリーブ園隣接の搾油工場で搾った高品質なエキストラバージンオリーブオイルは2023年度ロンドン、カナダの国際オリーブオイルコンペティションクリオリティー部門で最高位のプラチナム賞を受賞。隣接地でグランピングも開始して、オリーブ園に集客できるよう観光農園を目指しています。



(株)Awaji Nature Farm 代表取締役 田中康輔さん

なぜ農業を？

私たちのビジョンは農業分野の雇用創造と一次産業の振興により地域の活性化と持続可能な豊かな社会を実現することです。

現在、淡路島の素材や残渣から堆肥作りを行う、循環型農業に取り組んでおり、さらには、収穫等の農業体験など、農業を活かした研修プログラム等で、農に関わる関係人口を増やす取り組みも行っています。



なぜ北淡路で？

北淡路には、農業用水が確保されている広い農地があります。自然が豊富なうえ、消費地である都市圏にも近く、淡路島のブランドイメージもあり、「ここしかない」と思い、決めました。



(株)池上農場 代表取締役 齋藤亜紀美さん

なぜ農業を？

建設業をしている父が農業に新規参入したことがきっかけでした。淡路島では2010年に、地域団体商標「淡路島たまねぎ」を取得し、ブランド化して一層全国発信する戦略を開始していましたので、私どもも参画して、農業を始めました。

今後の展開は？

約14haの農地で年間約800tの玉ねぎを生産し、輸出にチャレンジしたいです。この淡路島が日本だけでなく世界的に玉ねぎで注目される島になれば面白いと思っています。



淡路島ワイナリー合同会社 代表社員 小谷雄介さん

2019年、海の見える雄大なロケーションと、移住者にも親切な地域の人々に引かれ、北淡路土地改良区に紹介いただいた北淡路地区でブドウの栽培を開始。翌年、島内でレストランを営み地元の食材を使った料理に合うワインが欲しいと考えていた井壺さんと出会い、二人で合同会社を設立しました。同施設は地域資源を生かした農林水産物加工・販売施設等の整備を支援する「農山漁村発イノベーション整備事業」を活用して開業。そして2024年3月に島の食材の魅力を引き立てる“新生”淡路島ワインが誕生し、島内外からの集客により地域の活性化を目指します。

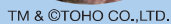


ブルーベリーヒル淡路 代表 林田雅行さん

脱サラしてブルーベリー観光農園を開業するために、都市からのアクセスが良く1カ所にまとまった農地を探して淡路市に相談してみると北淡路土地改良区を紹介され、現在の農地を斡旋してもらいました。希望の面積、農業用水が揃い、農地周辺には観光スポットが点在している条件の良い農地です。2019年にブルーベリー1000本の栽培を始め、翌年には観光農園として開園しました。今後もこの場所で夏の定番としてブルーベリー狩りが定着することを目指し、ブルーベリーの栽培をしていきたいと考えています。



北淡路
土地改良区
農地MAP



 神戸から車で30分
 大阪から車で60分
北淡路は淡路島の玄関口



企業参入の状況①（相対契約によるもの）

（令和7年1月時点）

番号	事業者名	参入前の業種	農業参入	貸付面積	開始時期	作付作物	団地名
①	(有) 新家青果	農業系	既営農（島内）	3.6 ha	H16.9	有機玉ねぎ	北淡16- 1、16-3
②	(株)Awaji Nature Farm (パソナ農援隊)	サービス業	北淡路から	8.8 ha	H20.6	玉ねぎ、葉物類、 ぶどう等	北淡1-2、5-4、16-2 ほか基盤整備区域は 下欄に記載
③	光明建設(株)	建設業	北淡路から	4.0 ha	H20.10	玉ねぎ、ねぎ	別所、別所（新）
④	(株)全カフーズ	サービス業	既営農（島外）	2.4 ha	H27.11	サツマイモ、アスパラガス	東浦6-2
⑤	淡路島オリヴグローワーズ(株)	農業系	北淡路から	4.7 ha	H28.3	オリーブ	北淡3
⑥	(株)今井ファーム	農業系	既営農（島内）	(6.6)ha	H27.11	玉ねぎ	基盤整備欄に記載
⑦	(株)K. ファーム	農業系	既営農（島内）	0.5 ha	H28.9	玉ねぎ	白山
⑧	NRCナカヤマ	農業系	既営農（島内）	1.1 ha	H28.9	麦	東浦4（西）
⑨	(株)池上農場	農業系	既営農（島内）	0.7 ha	H29.1	玉ねぎ、オリーブ	北淡5-1 ほか基盤整備 区域は下欄に記載
⑩	(株)ハーベストファーム	建設・不動産	既営農（島外）	9.2 ha	H29.1	オリーブ	東浦1、東浦4（西）
⑪	(株)栄農人（エナジー）	農業系	既営農（島外）	3.7 ha	H29.4	サツマイモ、トマト等	北淡18-2
⑫	(株)淡路の島菜園 グリナリウム淡路島	農業系	既営農（島内）	5.7 ha	H30.4	ハウス（トマト、イチゴ） 観光農園	北淡4- 1
⑬	(株)ジーピーファーム	卸売・小売業	既営農（島外）	2.5 ha	H29.10	植木等	東浦6-1
⑭	ユーアールエー(株)	サービス業	北淡路から	0.5 ha	H30.8	観賞用植物、庭木等	北淡6-2
⑮	市村太佑	農業系	北淡路から	1.4 ha	H30.4	ブドウ	北淡11、12
⑯	ブルーベリーヒル淡路 林田雅行	製造業	北淡路から	0.6 ha	H31.1	ブルーベリー	北淡5-1（2期地区）
⑰	淡路島ワイナリー合同会社	農業系	北淡路から	4.0 ha	R1.6	醸造用ブドウ	北淡12、16-4、18-1、18-2
⑱	Domaine KAORU(株)	個人	北淡路から	(1.3) ha	R1.9	醸造用ブドウ	基盤整備欄に記載
⑲	太陽通関(株)	通関業	北淡路から	7.5 ha	R1.9	但馬牛	北淡4-2
⑳	原田政浩	畜産系	既営農（島内）	1.3 ha	R1.9	畜産、放牧	別所（新）
㉑	(株)松下牧場	畜産系	既営農（島内）	4.0 ha	R1.9	但馬牛肥育、牧草	淡路4-3、白山
㉒	(株)タナットネイチャーLab	サービス業	北淡路から	2.4 ha	R2.1	玉ねぎ、いも類、果菜等	北淡18-2
㉓	恵ヴィンヤード 吉井千恵子	農業系、卸売・小売業	北淡路から	0.8 ha	R3.3	醸造用ブドウ	北淡17-1
㉔	(株)ユウキノチカラ	サービス業	既営農（島外）	4.0 ha	R3.4	オリーブ	北淡17-1、17-4
㉕	ハートスアグリフロンティア(株)	サービス業	北淡路から	2.4 ha	R3.4	玉ねぎ等野菜類、ぶどう、 レモン等果樹類	北淡6-2、11 ほか基盤 整備区域は下欄に記載
㉖	MUKU FARM	福祉関係	北淡路から	0.7 ha	R3.12	サツマイモ、玉ねぎ、かぼちゃ等	東浦4（西）
㉗	Botanical Life合同会社	農業系	既営農（島外）	1.3 ha	R4.3	醸造用ブドウ	東浦2（3期地区）
㉘	Hug hug Farm 佐藤真理子	個人	北淡路から	0.1 ha	R5.2	レモン、ヤーコン等	東浦3
㉙	竹岡宏倫	製造業	既営農（島外）	0.6 ha	R5.8	ブルーベリー、アスパラガス、 いちじく等	白山
㉚	武田諒成	農業系	既営農（島外）	2.3 ha	R6.10	オリーブ	北淡3
	その他（2社）			2.5 ha			
計（32社）				83.3 ha			

企業参入の状況②（基盤整備を契機とした公募による参入（既参入の企業、地元は含まない））

番号	事業者名	参入前の業種	農業参入	貸付面積	開始時期	作付作物	団地名
北淡路地区（R3～8）11.2ha（施工時点）							
③①	(株)Awaji Nature Farm（パソナ農援隊）	サービス業	北淡路から	5.5 ha	R6.6	醸造用ブドウ、レモン	北淡1-1
③②	(株)池上農場	農業系	既営農（島内）	4.2 ha	R5.11	玉ねぎ	北淡1-1
小計2社				9.7 ha（他に地元農業者1.5ha）			
北淡路 2 期地区（R4～9）6.2ha（施工時点）							
③③	(株)今井ファーム	農業系	既営農（島内）	2.1 ha	R6.10	玉ねぎ	北淡1-2、6-1
③④	ハートスアグリフロンティア(株)	サービス業	北淡路から	1.2 ha	R8.1（予定）	野菜全般	北淡6-2
小計2社				3.3 ha（他にブルーベリーヒル淡路、萩本ファーム、地元農家等2.9ha）			
北淡路 3 期地区（R5～10）14.7ha（設計時点）							
③⑤	Domaine KAORU（株）	個人	北淡路から	2.0 ha	R8年度以降	醸造用ブドウ、醸造	東浦2
③⑥	(有) 三界産業	農業系	既営農（島内）	1.7 ha	R8年度以降	玉ねぎ、キャベツ	東浦4（東）
③⑦	ハートスアグリフロンティア（株）	サービス業	北淡路から	0.8 ha	R8年度以降	野菜全般	東浦2
③⑧	(株)池上農場	農業系	既営農（島内）	3.0 ha	R8年度以降	玉ねぎ	東浦4（東）
③⑨	(株)今井ファーム	農業系	既営農（島内）	2.7 ha	R8年度以降	玉ねぎ	東浦4（東）
小計5社				10.2 ha（他にBotanical Life、地元農家等 4.5ha）			
計9社				23.2 ha			
合計41社（重複除き33社）				106.5 ha			

北淡路地区企業等連携促進協議会

『北淡路地区企業等連携促進協議会』とは？

この協議会は、北淡路地区において農業参入を実施または予定している企業体及び地域営農者、関係機関等が連携することにより、情報の共有化が図られ北淡路地域に新たな農業ビジネス参入を促すとともに、地域営農及び参入企業の経営安定化や拡大に資することを目的に令和5年に設立されました。会員間に加え関係機関との情報交換やブランド化、6次産業化、販路拡大等の企画実施や情報発信をしていきます。※事務局：北淡路土地改良区



令和6年 情報交換会

農業参入を検討している事業者メッセージ

会長 (株)Awaji Nature Farm 代表取締役 田中康輔さん

経済の根幹を構成するとも言える農業は、地方における重要な産業のひとつと言えるでしょう。しかし、高齢化社会がもたらす担い手不足という問題を解決するためには、企業による農業参入が最も効果的であると言えます。北淡路地区に参入した企業の方々が様々な商機を掴めるような機会を創出させるための協議会です。農業参入を検討している事業者の皆様、我々と共に地域経済の活性化を目指しましょう！



協議会員

(令和6年12月時点 五十音順)

- ①淡路島ぐるめ屋 株式会社 ②淡路島ワイナリー合同会社 ③株式会社 Awaji Nature Farm ④株式会社 池上農場
⑤北淡路肉牛 株式会社 ⑥有限会社 三界産業 ⑦有限会社 芝床農産 ⑧太陽通関 株式会社
⑨株式会社 タナットネイチャーLab ⑩Domaine KAORU 株式会社 ⑪ハートスアグリフロンティア 株式会社
⑫株式会社 ハーベストファーム ⑬株式会社 松下牧場 ⑭恵ヴィンヤード ⑮株式会社 ユウキノチカラ
⑯Hug hug Farm ⑰竹岡宏倫 ⑱武田諒成 ⑲有限会社 新家青果

- ⑩ 企業等名称 ①作物、土地利用形態等 ②北淡路における活用面積 ③参入のきっかけ ④取組の将来像

1 淡路島ぐるめ屋 株式会社

- ①トマト 水耕栽培(施設)
②0.1a
③地元農家
④あわじ島グルメトマト®ブランドの確立とさらなる品質向上



2 淡路島ワイナリー 合同会社

- ①ワイン用ぶどう
②4.0ha
③気候に恵まれた土地、風土を感じる農地との出会い
④ワインぶどうの産地形成



3 株式会社 Awaji Nature Farm

- ①畑作、果樹
②14.3ha
③農業人材の育成
④新たな観光需要の創出



4 株式会社 池上農場

- ①玉ねぎ
②4.9ha
③地元農家、規模拡大
④淡路の玉ねぎを世界中に広めたい



企業参入・営農状況の事例

5 北淡路肉牛 株式会社

- ①飼料作物、放牧
- ②14.6ha
- ③地元農家、規模拡大
- ④花さじきの誘客や堆肥利活用



6 有限会社 三界産業

- ①玉ねぎ
- ②2.1ha
- ③地元農家、規模拡大
- ④さらに規模を拡大していきたい



7 有限会社 芝床農産

- ①デュラム小麦等
- ②1.1ha
- ③耕作放棄地解消等
- ④淡路麺業等を通じ国産小麦を広めたい



8 太陽通関 株式会社

- ①但馬牛の子牛
- ②7.5ha
- ③荒廃農地の活用
- ④広大な草地と牛舎で健康的に育てたい



9 株式会社 タナットネイチャーLab

- ①野菜全般 ②2.4ha
- ③新規事業で自然環境にやさしい農業に参入
- ④農業体験、農福連携、都市と農地をつなぐ



10 Domaine KAORU 株式会社

- ①ワイン用ぶどう等 ②1.3ha
- ③都会に近い島でぶどう栽培に良い環境
- ④自社ワイナリーで淡路島ワイン作りと地域貢献



11 ハートスアグリフロンティア 株式会社

- ①畑作物、果樹等 ②2.4ha
- ③おいしい野菜を子ども達に届けたい
- ④地域活性化と食のテーマパーク建設



12 株式会社 ハーベストファーム

- ①オリーブ
- ②9.2ha
- ③農業参入
- ④オリーブオイル販売を中心に観光農園など集客施設建設



13 株式会社 松下牧場

- ①飼料作物、但馬牛肥育
- ②4.0ha
- ③神戸ビーフ肥育指定生産者
- ④自社ブランド牛の提供や循環型農業



14 恵ヴィンヤード

- ①ワイン用ぶどう
- ②0.8ha
- ③農業参入
- ④ワインぶどうの特産化や地域の活性化



15 株式会社 ユウキノチカラ

- ①オリーブ
- ②4.0ha
- ③農業参入
- ④観光農園や農家レストラン



16 Hug hug Farm

- ①レモン等
- ②0.1ha
- ③移住に伴い農業参入
- ④自営の飲食店でレモン等を活用



17 竹岡宏倫

- ①ブルーベリー
- ②0.6ha
- ③新しい農業ビジネスの模索
- ④耕作放棄地の活用と人材育成



18 武田諒成

- ①オリーブ ②4.0ha
- ③移住、規模拡大
- ④淡路島で世界が認める国産オリーブオイルを作ることに特化した専業農家

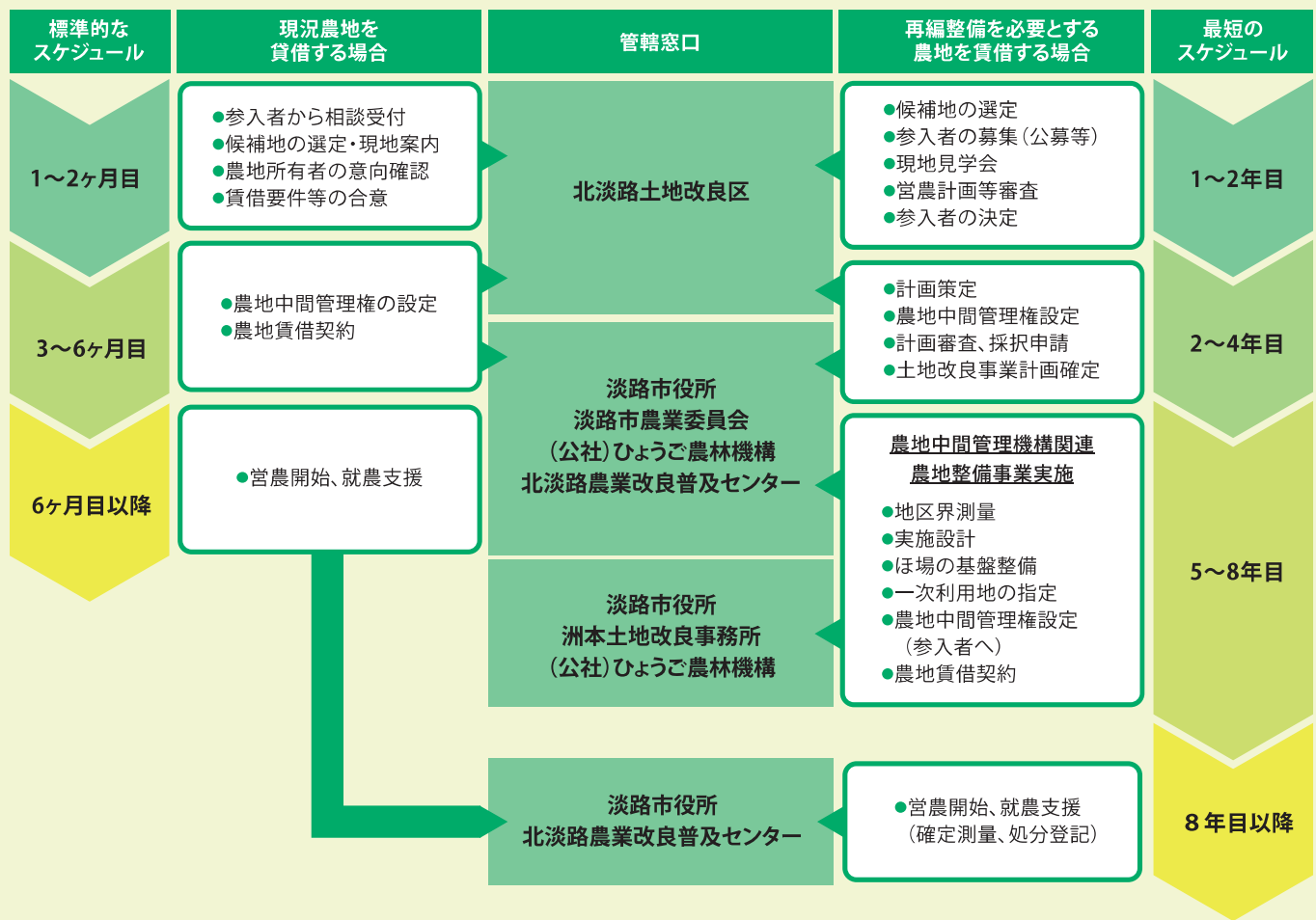


19 有限会社 新家青果

- ①有機玉ねぎ ②3.6ha
- ③近くで玉ねぎ栽培がなく有機栽培しやすい、水はけがよい、大きな圃場、水源がある、今後の拡大が見込める
- ④栽培面積の拡大



営農開始までの流れ（農地中間管理事業を活用の場合）



総合窓口はコチラです

北淡路土地改良区

農業参入を希望される企業の皆さまのニーズに応じた農地の賃借をコーディネートします。



連絡先

〒656-1726 兵庫県淡路市野島常盤1372-1
 TEL 0799-82-0387 / FAX 0799-82-1267
 E-mail kitaawaji-totikairyouku@nike.eonet.ne.jp

